



1288 3年「アメを舐めると舌が痛くなるのはなぜ」5/3

僕「アメを食べよったら舌が痛くなってきた。」

母「食べ過ぎたら、舌やほっぺの内側が痛くなるよな。」

僕「何でだろうな？アメで口の中が傷つきよんだら？」

アメを溶かすには唾液が必要です。食べ過ぎるとだ液が減り水分が少なくなって浸透圧という現象が起こります。口の中がザラザラになったり痛くなったりします。水分を取りながら食べることでざらつき予防ができるようです。



★ 水に何か溶けている水溶液では、濃度が薄い方から濃い方に水は動いて同じ濃度になろうとします。口の中でアメが溶けると、アメの濃度を薄めようと口の内側から水分が出てきます。ということでしょう。野菜に塩をふると水分が出てくるのと同じです。

1289 3年「お茶の葉」5/2

お祖母ちゃんがお茶をつくっているの、作り方をききました。

私「どうやってお茶をつくるの？」

祖母「さいしょに、お茶の葉をつむ。次にむしきでむす。」

私「何分くらい？」

祖母「4～5分くらいむす。」

私「へえ。」

祖母「そしてフライパンで、まぜながら水気をとったり、手でもんでカラカラにする。」

すこし自分で調べました。ゴールデンウィークごろにとれるお茶は「一番茶」といいます。新しく出た「め」をつんでお茶にします。りよく茶は、かぜのよぼうになり、体にとってもいいそうです。

★ 私は6月に「びわ茶」をつくりました。ビワの枝を切り落としました。枝にたくさんついていた葉がもったいないのでお茶に。葉を乾かす前に葉の裏の毛を、歯ブラシでこすってのけるのが大変。



葉には栄養
があります。

1290 「駐車場から貝」6/26

「先生、貝を駐車場で見つけました。」

「大きいね。どこだって？」

「駐車場を掘ったら出てきました。」

「何で駐車場を掘ったのですか？」

「違っていました。先が少し見えていたの、掘りました。」

「なるほどね。」でも大きい貝だね。

